

平成26年度の協働パイロット事業は、100万円の予算の範囲内で1事業あたりの予算枠を設けないこととし、9事業の提案を受け付けました。

また、今回は4件の課題テーマが示され、そのうち3件の課題テーマに6件の提案があり、静岡市の抱える社会的な課題の解決のため、NPOの皆さまが積極的に取り組まれている姿勢を拝見し、市民活動の高まりを実感することができました。

審査では、「協働にふさわしい事業か」、「予算の見積もりは適正か」の2点について、特に重点を置き審査を行いました。

提案の9事業を審査した結果、「協働パイロット事業にふさわしい」と判断した提案は、以下の4事業とし、平成26年度協働パイロット事業として採用するよう市に提案しました。

1 NPO法人 ホスピタル・プレイ協会

『障がい児・者に対するやさしい歯科治療を実現させるための協働』

2 いきもの企画

『「日本平動物園マニアガイド」作成事業』

3 特定非営利活動法人 まちなびや

『こどもとつくる動物園のおしごと図鑑』

4 特定非営利活動法人 カンテラ

『ボールを使ったダンス入門』※付帯意見あり

ただし、特定非営利活動法人カンテラの企画提案である『ボールを使ったダンス入門』については、団体が協働相手として考えている学校教育課から、事業の「実施可能性」について疑問視する意見があったため、特定非営利活動法人カンテラと学校教育課の両者で、事業実施内容等について協議を行い、事業実施について合意がとれた場合には、正式な採用としてください。



【注記】

特定非営利活動法人カンテラの事業実施について、学校教育課と協議した結果、「事業実施が困難である。」という結論に至ったため、別途、調整を行い教育センターを協働先として、一部事業を実施することになりました。

【採用（不採用）の理由】

◎NPO法人 ホスピタル・プレイ協会 <採用>

『障がい児・者に対するやさしい歯科治療を実現させるための協働』

ニッチかつ深刻な課題に挑むものであり、専門的な視点で行政の足りないところを補う企画提案であると感じました。

市の医療機関との連携は不可欠で協働にふさわしい提案であるものの、参加費の徴収・人件費の内容が一部不透明であったため、実施にあたり歯と口の健康支援センターと調整してください。

先進的な取組みで、静岡発の「歯科モデル」として、全国への波及効果も期待され、実行可能性の高さや実施に対する意欲も大変伝わりました。是非、静岡市にHP Sを根付かせてください。

◎いきもの企画 <採用>

『「日本平動物園マニアガイド」作成事業』

静岡市民の枠を超え、全国の動物園ファンに日本平動物園の魅力を気付いてもらえる発想に可能性を感じました。「大人が楽しめる動物園にしたい」というコンセプトが新鮮でした。

行政とは違った視点で、動物園側の「もっと深く知って欲しい」といったニーズに専門的に応えています。調査・打合せのための費用が、もっと必要であるといった印象を受けました。確実な事業実施のため、この点を再検討してみてください。

特定の分野を深掘りして発信することは、NPOならではの手法であり評価でき、これまでの実績も十分あり、ターゲットも明確で実効性も確かな印象を受けました。

実施にあたり、動物園来場者の意見を多く取り入れていくことを期待しています。

◎特定非営利活動法人 まちなびや <採用>

『こどもとつくる動物園のおしごと図鑑』

子どもからニーズを把握することは、この団体の独自の情報源であり、そのニーズに応える企画提案は価値が高いと感じました。子どもに様々な“働く姿”を見せることのできる本提案には大きな意義があると感じました。

『動物園＝動物』であると捉えがちですが、動物園で「働く人」に焦点を当てているところに市との協働の意味が出ています。人件費等が、団体の行う他のプロジェクトと連動し支出されることもあり、単体としての予算を評価することが難しい印象を受けましたので、適正な予算執行に配慮してください。

市民活動として、すでに大きな実績のある団体であるため、その力を最大限に発揮してください。

◎特定非営利活動法人 カンテラ <採用> ※付帯意見あり

『ボールを使ったダンス入門』

児童・生徒の自己肯定感、達成感を生み出すきっかけとして体育教師に着目したことを評価しました。体育の授業でダンスが必修となり、それを側面支援するため有効な企画提案です。

「体育教師」を対象としている点で、協働の必要性は高く、教育現場と上手に手を繋いでいければ、非常に良い事業となり、普段の活動では踏み込むことのできない教育分野への協働を発案した着眼が良いと感じました。パフォーマーの人件費を盛り込まず、まずはボランティアで自分たちの活動を伝えたいという姿勢に想いの強さを感じました。

「市民の発想」、「市民ニーズの救い上げ」という点では、まさに『市民活動のお手本』といった企画提案であると言えます。

企画提案内容は非常に良いのですが、協働事業の実施相手となる学校教育課から「学習指導要領や、学校の年間のカリキュラムとの整合を図ることが難しい」との意見があったため、今回、事業実施決定につきまして、付帯意見を付けさせていただきました。

●おケイコフェスタ実行委員会 <不採用>

『こどものクリエイティブ体験ワークショップ事業』

クリエイティブな人材育成に目を向けている点を評価しました。反面、ターゲット層を広げたことで、視点がぼやけてしまっている感があります。市の施設である「CCC」と「まある」の支援にはつながる企画提案ですが、市民活動としての発展性が見えづらい点がマイナスでした。予算の見積もりは適正でした。

これまでの活動から得られたネットワークを活かせる企画提案であるものの、「市民活動」というよりも「行政のサポート」といった方向性を強く感じました。

せっかく良い企画提案を出していただいていますので、プレゼンテーションの手法についても研究されることをお勧めします。

●地域コラボプロジェクト <不採用>

『草薙 wonderfool カレンダー』

・<市民ニーズ・社会的課題を的確に認識>

課題テーマにお応えいただき、ありがとうございました。

日頃の活動を通し、市民ニーズを皮膚感覚で捉えたことが評価でき、社会的課題を捉えているものの、反面、解決策の提案が弱い印象を受けました。学生が市と協働することで、様々な体験ができる点は、非常に良いと感じています。

カレンダーを製作する過程は評価できますが、その後、それを掲示してもらうための提案が不足している感があり、「紙のカレンダーよりも、電子媒体を含め、他にもっと良いツールがあるのではないのでしょうか。」といった委員の意見もありました。

「草薙に活気を」といった視点でご提案された学生によるプロジェクトを、今後の活動の中で、取組まれていくことを期待しています。

●かるがも親子 <不採用>

『しずおかのこどもを地域の大人で育てよう「かるがも親子の遊び講座とご近所さんカフェトーク」』

「子育て世代のニーズ」と「商店主のニーズ」を草の根レベルでマッチングしているところを高く評価しました。特に居場所づくりのニーズを的確に捉えている企画提案です。

ただ、「協働のふさわしさ」という点においては、市の役割が見えづらく、協働の主たる目的が、「資金」と「場所」の提供に偏っている印象を受けました。予算の積み上げに関しては細部までしっかりとできていました。

社会のニーズに気付き、仲間を募り活動を始め、広められていることに共感が持てました。今回は市との協働事業には至らなかったものの、お金をかけずにやれることから取組んでみて、実績を積んでいってください。

●特定非営利活動法人 スリーピース <不採用>

『みんなで盛り上げよう。『夜の動物園』』

課題テーマにお応えいただき、ありがとうございました。

ニーズ把握に関する根拠が乏しい印象を受けました。動物園での夜間のイベントの対象を未就学児とした場合、イベントが盛り上がるのかに疑問を感じました。

協働の主たる目的が、「広報協力」と「場所の提供」に偏っており、協働で実施することの意味が薄い印象でした。これまでの活動に実績があり、予算の積算は適切でした。

既存のイベント企画をなぞっている印象があり、「さすが!」、「強みを十分に活かしている!」と感じさせてくれるようなプレゼンテーションをしていただけたら、評価点が上がったと思います。

子どもの視点に立ち、子どもが本当に喜んでくれる企画提案に磨き上げ、是非、協働パイロット事業に再チャレンジしてください。

●特定非営利活動法人 音楽の架け橋メセナ静岡 <不採用>

『鳴き声そっくり!楽器が奏でる動物園のコンサート』

課題テーマにお応えいただき、ありがとうございました。

今回の企画提案では、動物園側のニーズを的確に捉えているのかが不明確でした。

協働相手に求めることがイベント告知が主で、相乗効果が薄く、あえて動物園でイベントを開催する必要性が感じられず、「会場を駅前にしたり、幼稚園でのイベントに合わせて実施する方が、効果が高いのでは。」「ボランティアやプロボノを活用することで、削減できそうな予算科目(ステージ司会、事務労務費)もあるのでは。」といった意見が委員から出されました。

一方、「音楽活動」と「動物園」を結び付けた発想は興味深く、子どもたちに喜んでもらえる点では、非常に良い企画提案であるため、内容をさらに磨き上げ、是非、協働パイロット事業に再チャレンジしてください。